

協議の進め方

資料3

適正配置（統合等）の必要性の協議

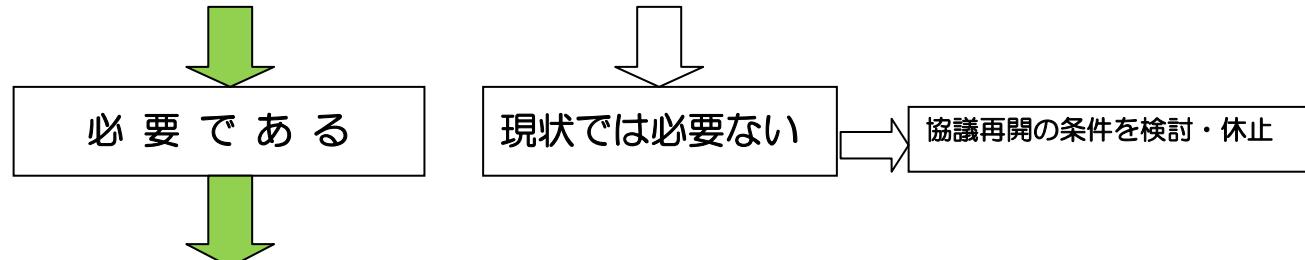
○適正配置とは？

- ・適正配置によって何が良くなるのか。（ならないのか。）
- ・学校規模、学級規模、教員配置の基準は何か。
- ・統合後の教育環境整備（教員等の加配、校舎改修等）はどうなるのか。
- ・通学路の安全確保はできるのか。（通学路の状況、通学距離等）
- ・地域との関係をどのように調整するのか。
- ・話し合いをどのように進めるのか。

など

合意

千城台地区の小学校の適正配置（統合等）は



適正配置（統合等）の具体的な内容の協議

- ・統合の組合せ（どの学校とどの学校を統合するのか）
- ・統合の場所（統合校をどこに置くのか。）
- ・統合の時期（いつ統合するのか）

視点
子どもにとっての
より良い教育環境
規模・配置・・

合意

不合意

合意事項を「統合に関する要望書」として
教育長へ提出

協議再開の条件を検討
中学校について協議

適正配置（統合等）後の跡施設活用の協議

合意

合意事項を「跡施設活用に関する要望書」として市長へ提出

教育委員会会議で協議
→適切であると判断した場合
決定

平成27年4月統合の想定スケジュール(先行地区を参照)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
代表協議会	~9月 統合要望書提出	~3月 跡施設要望提出				
統合準備	統合準備会	交流活動の実施・学校間のすり合わせ				
対象校 A	通常使用	通常使用	統合 仮校舎として使用	跡施設		
対象校 B	通常使用	通常使用	改修工事 仮校舎として必要な修繕	移転 統合校		
			改修工事設計			
				耐震補強工事(予定)		